

令和2年度第2学期終業式

令和2年12月23日（水）

皆さん、おはようございます。あとわずかで激動の2020年も終わろうとしています。皆さん、今年はどうでしたか。新型コロナウイルス感染症が、まだ、治まる兆しが見えません。マスクの着用、手指消毒を行い、密を避け、新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう。

12月6日、小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセルが6年ぶりに地球に帰ってきたことがニュースで取り上げられました。「はやぶさ2」は2014年の打ち上げ後、順調に飛行を続け、小惑星「リュウグウ」に2回着地し、人エクレーターも作り、砂や地中の物質を採取しました。

10年前に地球に帰還した「はやぶさ」初号機は、2003年に打ち上げられ、小惑星「イトカワ」に着地、試料を採取しました。エンジンの故障、通信途絶などさまざまなトラブルが起き、満身創痍の状態になり、予定より3年遅れの2010年にカプセルを地球に戻し、探査機自体は大気圏再突入の際に燃え尽きました。今回の「はやぶさ2」は、こうした「ドラマ」はありませんでした。というよりも、ドラマにしないことがチームの目標だったそうです。初号機の失敗や経験を生かして技術や設計を磨き、運用訓練を重ね、その努力が結実しました。「はやぶさ2」を率いたプロジェクトマネージャーは「100点満点で言えば1万点」と表現しました。

「はやぶさ」初号機の計画は1980年代半ばに始まりましたが、あまりに複雑で欲張った計画に「できるはずがない」と見る人が多かったそうですが、プロジェクトは成功しました。プロジェクトを率いた方は、「教科書に書いてあることは古いこと」「高い塔をたててみなければ、新たな水平線は見えてこない」など、新たな挑戦への意義や意欲を話していました。

挑戦とは何でしょう。挑戦とは、困難なことに挑むこと、戦いを挑むことと辞書には書かれています。今の自分ができないことをできるように行動することが挑戦です。最近、皆さんは挑戦をしていますか。成長したいと思うなら、挑戦をしなければなりません。挑戦と成長は、交互にやってきます。挑戦するから新しい経験ができ、新しい経験をするから成長できます。挑戦していく過程で成長していくのです。挑戦をやめれば、成長も止まってしまうのです。例えば、普段読まないジャンルの本に挑戦してみるというのはどうでしょう。未知の世界が広がっているかもしれません。だからこそ知識が深まり、視野が広がります。挑戦には、1つの無駄もありません。挑戦することは、何でも成長になります。失敗しても、大丈夫です。笑えばいいのです。何かに挑戦しないと人生がもったいないと思いませんか。1日に1つは、新しいことに挑戦です。さあ、今から挑戦しましょう。

最後に、皆さんにとって、来年も素晴らしい年になりますよう祈念して、終業式の話とします。